

CONCEPT BOOK

加西の空を見上げてみたら



加西市で生きる人の心の中には

どんな風景が広がっているんだろう。

古くから交通の要衝として栄えた加西市には
さまざまな人が集い、農業や工業を発展させて

現在まで豊かな暮らしを築いてきました。

この土地特有の穏やかな気候の中で人々は
何気ない日々の充足を感じて生活しています。

まるで、おだやかな日差しの中のような心地よさ。

抜ける空を見上げたときのような爽快感。

周りが眩しい光で満たされていくような充実感。

加西市で生きる人たちが感じている日常の素晴らしさを

市外の人たちにもわかりやすく伝えていくため

私たちはこの土地に新しい呼び名をつけました。





今日も、未来も、青空 AOZOLAND 加西市

コンセプト意図

澄んだ空、豊かな自然、穏やかな気候という風土の素晴らしさ。活発な産業が町にもたらす創造性。そのような魅力を備えた土地に住む気持ちの晴れやかさ。なんでもない日々の暮らしを満ち足りたものになっている加西市の多様な価値をAOZOLAND(あおぞらんど)というエモーショナルなワードで包括的に表現しました。今日という日のエネルギーを感じ、明日も自分らしく暮らしていこうとする加西市の人々の胸の内にある、おおらかで明るい気分を直感的に表現しています。

ロゴマーク意図

加西市の日常の中から気球がふわりと顔をのぞかせた、ワクワクする場面をイメージしてロゴマークをデザイン。家々の連なりと加西アルプスの背景に大きく広がる青空により、加西市の明るい未来を象徴的に表現しています。AOZOLANDの文字は太めの書体とし、上昇する2つの気球をポイントとしてあしらうことで楽しい印象を演出。加西市の気候の穏やかさや日常の心地よさ、高揚する気分を感覚的にイメージできるマークとしてデザインしています。

平日は都市部で働きながら、
休日は家族で山登りを
楽しんでいる人たちがいます。



LOCATION & LIFE

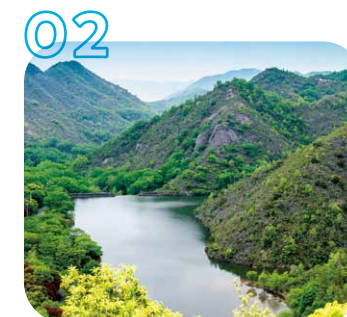
加西市の 立地と暮らし

仕事や買い物などに便利さを感じながらも、
のんびり落ち着いた暮らしができるトカイナカだから、
ここで暮らす人々の心はいつもほがらか。



いつでもすぐに都市部へ

都市部へのアクセスの良さは特徴の一つです。市の中心部を中国自動車道が通り、すぐ南側を山陽自動車道が通る環境のため、神戸や大阪へは約1時間、姫路へは約40分で到着。交通の利便性が確保されているから、土地の半分以上を山林と田畑が占める加西市でスローライフを楽しみながら、都市部の希望の職場で働くことも可能です。



自然の美しさを満喫する

加西市は大都市近郊ながら自然が豊か。北部には中国山地の裾野を形成する海拔300～500mの低山が連なり、これらから水を運ぶ複数の河川が日本の原風景とも言える田園とため池、里山の景観を作りあげています。市中心部から15分程度で緑に包まれる古法華自然公園を訪れ、魚やザリガニを獲ったり、山登りを楽しむことができます。



気候は穏やかで災害が少ない

北部だけでなく、南部にも火山活動で形成された海拔200～250mの低山が連なり、季節風が遮られるため、気候が穏やか。一年を通して晴れが多く、冬場も降雪が少ないことが特徴です。近年「気球の飛ぶまち」として知られるのも、穏やかな気候があってこそ。また大きな河川がないため、古くから氾濫などの自然災害が少ない場所です。



加西市に引っ越してきて
希望を胸に新生活を
はじめる人たちがいます。

IMMIGRATION SUPPORT

加西市の 移住・定住支援

移住・定住の支援制度を充実させているため、
引っ越してきた人たちも、晴れやかな心で生活。
こうした移住者の存在が、
町に新たな活気を生み出しています。



もっと若者が暮らしやすい町へ

古くから人が行き交う宿場町として発展してきた加西市では、現代においてもさまざまな人が集い、交流が生まれる町であるようにとの考えから、若者世帯向けに「4つの住まいのサポート」を用意しています。結婚後の新生活の支援や新婚世帯の家賃補助、子育て支援などによって移住・定住を促進し、多世代が交流する活気ある町づくりを進めています。



空き家を活かし住みたい人へ

移住者支援の一つとして「空き家バンク」を設け、安心して住める空き家の紹介を行っています。高齢化や人口減少によって管理されない空き家が増えることは地域の暮らしの質を損なう原因になりかねません。活かしたい持ち主から移住希望者に紹介を行うことで移住者の暮らしやすさも、地域の活性化も実現するように目指しています。



加西暮らしを気軽に体験

加西市では、移住を検討する方向けに「お試し滞在」助成制度を設けています（一人一泊最大5,000円）。宿場町の雰囲気やいまも残す北条町の古民家「メタテ」に泊まり加西市街地での暮らしぶりを味わったり、目前に田園が広がる宇仁地区の「やすらぎ」に泊まり、自然とふれあう加西市の暮らしを体感することもできます。



おいしいぶどうを

つくるコツを、先輩農家から

学んでいる人がいます。

AGRICULTURE

加西市の農業

長年にわたり絶え間なく努力を続けてきた先人から

貴重なノウハウを受け継いで挑戦できるから

加西市の農業は、まぶしい可能性に満ちています。

01



揺るがぬ信頼、加西ブランド

先人のたゆまぬ努力によって育まれた「加西ぶどう」。種なし技術を確立した「加西ゴールデンベリーA」で名を馳せ、近年人気の特産品種ブラックビートにおいても兵庫県内有数の産地です。生産者の想いが詰まった「加西のトマト」は、最盛期はお店に行列ができるほど。甘みと酸味のバランスの良さ、コクの深さを味わってみてください。

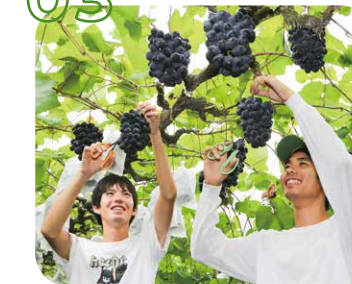
02



肥沃な大地が築いた米どころ

日本最古の地誌「播磨国風土記」にも肥沃な土地として綴られている加西市。年間を通して温暖で冬の降水量が少ない瀬戸内式気候と、受け継がれてきた貴重な水源「ため池」による肥沃な大地が、米どころ加西を作り上げました。この地で収穫される酒米の王様山田錦は全国の酒蔵で醸され、世界で評価される銘酒にもなっています。

03



農業振興の取り組み

加西市は就農環境に恵まれた地域です。安定した気候で多種多様な農産物が生産でき、農業の学校や研究機関が集積し、支援策も充実しているため、農業での起業を目指す20代の若者、豊かな自然にふれあう生活に憧れる家族、ビジネスチャンスを求める法人など、さまざまな人が農を求めて加西に集まり、活発な挑戦を行っています。



世界を驚かせる技術を
加西から送り出そうと
挑んでいる人がいます。

INDUSTRY

加西市の産業

ものづくりの町として知られる加西市は、
常に新しいものを生み出そうとする挑戦心に満ちており
多くの人がまぶしい明日へ向かっています。

01



三洋電機とともに発展

加西市は世界ブランド、三洋電機と共にものづくりの歴史を歩きました。1949年に同社が創業した地として、数々の家電製品を手掛けて発展していく中で、数多くの織物業の工場が下請け工場へシフト。それらの協力企業が製品の品質を高め、世界ブランドとなっていく躍進を支えました。製造技術と挑戦心が根付いたのはそのときからです。

02



世界に誇れる産業技術も

現在も加西市には、高い技術力や貴重なノウハウを持つ製造業企業が多数集積。市内総生産の割合は製造業が半分以上を占めます。分野は金属製品や電気機械器具、プラスチック製品、鉄鋼業など。近年は食料品が増加傾向です。加西市には他では作れない製品を作るオンリーワン企業など、世界に誇れる中小企業がたくさん存在しています。

03



産業振興の取り組み

加西市では中小企業者のデジタル化支援を進めると共に、多彩なものづくり企業が持つ特徴ある技術・ノウハウの組み合わせ・融合で新たな魅力を創出する取り組みを推進。異業種間、事業者間の垣根を越え、新しい組み合わせを実現することで、市内のすべての事業者が新しい価値の創造へ挑戦できる事業環境の整備を目指しています。



違う土地で暮らしながら
加西市の空を想ってくれる
人たちもたくさんいます。

CONNECTION 全国との 関係づくり

多くの方々に加西市を知っていただき、
応援していただくために、ふるさと納税制度を推進。
市外の人たちとの関係を深め続けています。

加西の青空を遠くの町の方々にも — ふるさと納税制度 —



加西市はふるさと納税制度が始まった平成20年度以降、延べ70万件以上の方々からあたたかいご支援をいただけてきました。令和4年度の寄附受入額は兵庫県1位、全国で13位となっています。今後も加西市独自の返礼品を通して遠くで暮らす方々にも、本市の心地よい日常をおすすめし、より多くの方々に加西市の魅力を深く知っていただけるよう努めてまいります。

🗨️ 全国からいただいた声

ふるさと納税を通じて、加西市を知りました。魅力的な産品がある素敵な町だと思います。今度は、観光で行ってみたいです。

広島県の寄附申込者さま

数年前からアラジントースターを家族みんなで愛用させていただいています。これからも日本の素晴らしい技術力を生かした製品を世に送り出してください。

東京都の寄附申込者さま

兵庫県の中でものどかな雰囲気がとても素敵な場所だと思います。気球にも乗ってみたい。これからも応援しています。

沖縄県の寄附申込者さま

そしていままた、
歴史あるこの町から
新しい何かが
はじまろうとしています。

子育てしたいまち、 学びたいまちの実現

子育て

未来へ続く持続可能なまちづくりを進めるため、子育て支援策を継続し、子育てしたいまちを目指します。

教育

「基礎基本の定着」「考える力を伸ばす教育」「グローバル教育」の推進により、挑戦・協働・想像する力を備えた、次世代型人材を育成し、魅力ある加西の教育を目指します。



活力とにぎわいのある まちづくり

商工業の振興と新展開

加西インター産業団地の整備は、公民連携により地域経済の成長と雇用確保の基盤となるよう、完成に向けて着実に事業を進めていきます。

地域資源の活用と人の流れの創出

加西市では、古くから大阪や京都との交流により、多種多様な歴史文化遺産が形成され、受け継がれています。地域の資源や遺産を生かし地域の課題解決と改革を進めます。



快適に暮らせる まちづくり

快適な都市空間の創出

自立分散型エネルギーシステムの構築、地域エネルギー会社の設立により、電力を地域内循環させ、「エネルギーの地産地消を実現した脱炭素のまち加西」を目指します。

安全・安心に暮らせる環境の充実

情報伝達システムを導入し、防災情報の一斉通知の仕組みを構築します。情報弱者が取り残されないよう支援を図り、デジタル化を進めます。





加西で暮らす人々の

心の風景は、いつも青空

私たちの願いはそれを

もっと快晴にしていこう



加西市青空宣言

周囲をぐるりと山々に囲まれた加西市は
一年を通じて気候がおだやか。
大きな自然災害の記録也没有。

この大らかな土地に人々は住みつき、
豊かな日常を紡ぎ続けてきました。

農作物を改良し、ものづくり技術を磨き、
特色ある産品を、もっとユニークに。

街を整備し、子育ての環境を整えて
暮らしやすさを、またひとつ上へ。

いまでも新しいことを生み出そうと試みる人たちが集まり、
この街を変化させ続けています。

だから加西の日常には、暮らしやすさと
前向きなエネルギーが満ちています。

暮らす人も、働く人も、子育てする人も、
みんなが澄みわたる空を見上げたときのような
眩しくて、心地よい気分になれる。

今日も、未来も、青空のまち
加西市へようこそ。

